

科目	生活行動援助技術 I				
時間数	1 単位 30 時間	授業方法	講義、演習	授業時期	1 年
講師名	③八塚愛未 ③矢野美穂				
実務経験	③看護師(医療機関)				
ねらい	生活に必要な食事の援助技術(食事介助)・活動、休息援助技術(車いす・ストレッチャー移乗・移送、体位変換)を学び、演習を通して、単独で実施できるレベルまで到達できる。				
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栄養と食事、食生活の意義を理解し、対象の状態を考慮した食事介助ができる。</li> <li>2. 人間の活動及び睡眠・休息の意義とそのメカニズムを理解し、対象が自分に適した生活リズムを形成し、快適な入院生活を送るための生活援助方法を学ぶ。</li> <li>3. 看護の基本技術としてのボディメカニクスの原理を理解する。</li> <li>4. 安全な体位と体位変換の意義を理解するとともにボディメカニクスの原理を用いて適切なポジショニング、移動の援助ができる。</li> </ol>				
授業計画					
回	内容				
1	基本的活動の基礎知識				
2	基本的活動の援助の実際				
3、4	関節可動域訓練/体位変換・体位保持 演習				
5、6	ストレッチャー移乗・移送/車椅子移乗・移送/歩行の援助 演習				
7、8	実技試験について				
9、10	睡眠・休息の援助				
11	食事援助技術				
12,13,14	食事摂取の介助				
15	筆記試験				
評価方法	その時間数の 3 分の 2 以上の出席者に限り受験資格を与える。 筆記試験 60%、実技テスト30%、演習 10%を総合して評価する 実技試験に合格し、かつ総合評価 60 点以上を取得した者を単位認定とする。				
教科書	基礎看護学②基礎看護技術 I :医学書院 基礎看護学③基礎看護技術 II :医学書院 根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術 第 4 版:医学書院				